

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



「今年のこんにやく夏祭り花火」
今年も8月14日（水）開催！



蒔田不動尊の滝

あなたと議会を結ぶ 確かな情報と信頼

主な 内容

- 令和元年度補正予算…………… 2
- 予算質疑…………… 3
- 一般質問…………… 4～7
- 審議結果…………… 8
- 視察・総会等報告…………… 9
- シリーズ地域おこし協力隊①…………… 10

下仁田町議会
ホームページ
QRコード



令和元年度 一般会計補正予算(第1号) 【594万円の増額】

- ・荒船風穴世界遺産登録記念事業を実施
- ・下仁田中学校ハンドボール部に指導員配置

歳入

(単位：万円)

事業名	主な内容	補正額
運動部活動指導員配置促進事業費補助金	下仁田中学校運動部への指導員配置 (国 1/3・県 1/3)	22
繰越金	前年度繰越金	42
一般コミュニティ助成事業助成金	川井区 (山車車輪及び飾付修理) 事業費補助	250
魅力あるコミュニティ助成事業助成金	仲町区 (神輿、大太鼓修理) 事業費補助	200
長寿社会づくり事業費交付金	荒船風穴世界遺産登録記念事業 (風穴&ジオバッチラリー及び荒船風穴ハイキングツアー)	80
		594

歳出

事業名	主な内容	補正額
まちづくり推進費	一般コミュニティ助成事業 川井区 (山車車輪及び飾付修理)	250
	魅力あるコミュニティ助成事業 仲町区 (神輿、大太鼓修理)	200
学校管理運営	臨時職員賃金 (下仁田中学校運動部指導員)	33
	修繕料 (下仁田中学校グラウンド東側雨水土砂流出防止対策)	36
文化財調査保護	荒船風穴世界遺産登録記念事業 (風穴&ジオバッチラリー及び荒船風穴ハイキングツアー)	75
		594

(万円未満切り捨て)

6月定例会の概要

▼開会日・一般質問(6日)
会期を13日までとする決定を行い、3人の議員が、町政の様々な課題について一般質問を行った。
・4〜7ページ参照

▼議案の上程・採決(7日)
報告3件、教育長の人事案件、条例の一部改正、専決処分承認9議案を上程・採決し、令和元年度一般会計補正予算(第1号)を予算決算特別委員会に、陳情1件を総務常任委員会に付託した。

▼予算決算特別委員会・総務常任委員会(10日)
付託された案件の審査を行った。
・3ページ参照

▼最終日・採決(13日)
令和元年度一般会計補正予算(第1号)及び「教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国の負担割合を2分の1に復元することを求める意見書」、議員提案で「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を可決した。
・審議結果は8ページ参照

議会・予算決算特別委員会を傍聴しませんか

傍聴される時は・・・

- ◇傍聴を希望する方は、議会当日に役場庁舎3階議場入口にて、傍聴人受付簿に住所・氏名・年齢を記入するだけです。(係の職員が対応します。)
- ◇団体に傍聴するときは、あらかじめ議会事務局へご連絡下さい。

予算決算特別委員会

▼主な質疑

◆令和元年度一般会計補正予算（第1号）

【歳入】

【歳入】

問 諸収入の長寿社会づくり事業費交付金の説明を。

答 歴史館費の荒船風穴世界遺産登録記念事業負担金を75万円計上していますが、世界遺産登録5周年記念事業で荒船風穴ハイキングやバジッラーを実施予定です。財源として地域活性化センターより長寿社会づくり事業費交付金として80万円が助成されるものです。

答 荒船風穴ガイドの増員はないため、その人件費分ではありません

【歳出】

問 企画費の一般コミュニティ助成事業の内容について説明を。

答 一般コミュニティ助成事業は、川井区の山車整備で、木製車輪と飾り付けの交換修理です。魅力あるコミュニティ

問 その補助事業は100%補助か。

答 自治総合センターと群馬県市町村振興協会に、事業費の端数部分を除いた額で、助成金交付申請をしており、今回の補助率は100%です。

問 中学校費の修繕費について詳しく説明を。

答 集中豪雨等の際、中学校校庭の土砂が道路に流出します。道路にある排水の側溝に土砂が流れ込

んで詰まらせる恐れがあることや、同箇所のごみ集積所に溜まる土砂を、地域の方が片付けているという状況であり、土砂流出をくい止めるため、約20mの区間をコンクリートで立ち上げ対応するものです。

問 中学校部活動指導員の配置までの流れと理由を。

答 昨年度から始まった事業で、今回は中学校に確認し、希望があったため、県に要望し予算が付きました。

理由は、教員の多忙化や競技経験のない教員が顧問をするという問題の解消を図るためです。今回配置するのは、顧問が競技経験のないハンドボール部です。

問 その事業の補正予算額33万6千円の積算根拠と指導員の職務は何か。

答 補助金の上限額の時給1千6百円で積算し計上しました。これは富岡甘

楽管内で同額としています。

職務は、顧問の代わりに指導や練習試合等の引率を行います。

問 競技経験がない顧問の部活動に部活動指導員を配置して、顧問と指導員との関係で子どもは混乱しないか。

答 町では部活動方針を策定し、学校はそれに則り部活動の運営をしています。また、指導員には事前に研修を行っているため、うまくやってくれると思います。

下仁田中学校部活動指導風景



一般質問 町政を問う

■ 質問事項一覧 >>> (傍聴者数 5 人)

岩崎正春 議員 50 分

〈 質 問 の 相 手 〉

1. 行財政改革の行方と工程表は

町 長

- ① その後の対策はどう進んだか
- ② 健全化への財源指数は
(実質収支、経常収支、債務残高、財調基金など)
- ③ 投資的事業の見直しは
- ④ 遊休公有地、施設への対策は

2. 戦略ビジョンと人材・人財育成について

- ① 総合計画、戦略ビジョンにおける人材・人財育成とは
- ② 教育現場では

町 長

教 育 長

佐藤 博 議員 40 分

〈 質 問 の 相 手 〉

1. 行財政改革

町 長

- ① 町の財政状況について
- ② 改善方策について
- ③ 定住自立圏構想について

佐藤公夫 議員 30 分

〈 質 問 の 相 手 〉

- 1. 令和元年度下仁田町予算 8 款 2 項 3 目
(道路新設改良費)
- 2. 神津牧場・荒船風穴増客対策について
- 3. 観光協会に対する補助金

町 長

※次ページからの質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

会議録の詳細は、概ね8月上旬から下仁田町議会ホームページに掲載しますのでご覧ください。
下仁田町議会ホームページは、インターネット検索サイトで「下仁田町議会」と検索して下さい。

問 行財政改革の行方と具体的な工程表は

答 行革推進専門部会で提案内容を検討済



岩崎 正春 議員

議員 その後の対策はどう進捗したか
町長 主なものは、荒船の湯の民間への譲渡計画である。荒船の湯には、施設運営費として毎年約1,500万円の一般財源を支出している。財政負担の大きい町有施設で民間活力が活用できるものは民間へ譲渡すべく手続を始めており、また、旧学校給食センター跡地の売却に向けた事務も進めている。

問 戦略ビジョンにおける人材育成は

答 本年度予算はゼロ査定

議員 行革はさらに進化した形で住民や外部見識のある方々も加わり、一層中身を深めてもらいたい。
町長 私自身も外部の話も随分聞いております。そういうことも含めてその方向で検討していきたい。
議員 投資的事業の見直しは
総務課長 投資的経費は、普通建設事業費、また災害復旧事業費、失業対策事業費とされており、予算書の15節の工事請負費及びそれに付随する経費が主なものである。平成29年度の決算では10億6,000万円で、全体の19・7%、令和元年度当初予算においては概算で5億9,000万円で、11・2%となっている。

議員 総合計画では、戦略ビジョンにおける人材育成をうたっているが、どうなっているか
企画課長 平成27年度は国の地方創生先行型の交付金が充たされたこともあり、16事業で約184万円の補助を行っている。その後は単独事業となり、平成28年は16事業で約94万円、平成29年度は9事業で約85万円、平成30年度は、4事業で約11万円を見込んでいる。

議員 教科書の中身が激変しているが、教育現場での人材育成はどのように行っているのか。
教育課長 小中連携により、義務教育の9年間を学びの連続性を意識した取り組みに努め、主体的、対話的で深い学びの視点からの授業改善を積極的に行うため、学校教育全体でICTを活用し、児童・生徒の情報活用能力の育成及びこれを支える基本的な操作スキルの取得に努め、教育アドバイザーによる研修を行い、小・中学校教員のICTスキルの向上に努めている。



「タブレット端末を活用した下仁田中の授業風景」

※「ICT教育」とは…
 情報通信技術（Information and Communication Technology）を活用した学校教育のこと。インターネット環境下で、タブレット端末等を使用した授業で教育の質の向上を目指す。

問 行財政改革は

答 行革推進本部で再検討し、実行に移す



佐藤 博 議員

議員 町の財政状況を年度毎に伺う。

総務課長 表に基づいて説明する。(下記表参照)

議員 議員定数と報酬は私が記載しました。この状況をどうに受け止めるか。

町長 財調は10億を下まわらず推移していけると感じ、町税収入は緩やかに下がっていると感ずる。

議員 先行きを心配する状況の中での質問です。このような状況に至った要因は何と考えるか。

町長 過疎債以外の残高29億9千万円の内、23億5千万円は臨時財政対策

議員 30年度の経常収支比率は何%になる見込みか。

総務課長 95%台になるかとは思われる。

議員 行政改革の考えは。

町長 専門部会で提案内容の検討が終了、今後は行政改革推進本部で再度検討、提案事項毎のタイムスケジュールを作成し、実行に移す予定。

議員 次に、定住自立圏構想に対する考えは。

町長 研究、検討をすべきと考えている。

議員 全国的な成立状況を把握しているか。

企画課長 全国の1718自治体中、中心市宣言をしている市は136市、成立は123圏域、525市町村。事業のメリット等、今後、研究しないと判断がつかない状況である。

議員 10年が経過しても、協定の成立は全国で3分の1程度、何が問題なのか、しつかり研究する必要がある。

議員 そのような機会には、議会にも呼びかけてくれることを希望する。

◆町の財政状況(特別会計と一部事務組合を除く)

(単位：千円)

項目/平成 年度	5年度	10年度	15年度	20年度	25年度	29年度	平成5年度対平成29年度比
過疎債以外の残高	1,611,581	2,002,229	2,850,813	3,278,564	3,256,151	2,992,127	1.86倍
過疎債の残高	2,062,509	2,033,864	2,014,133	1,513,023	2,210,140	2,522,528	4億6000万円の増
合計借入残高	3,647,090	4,036,093	4,864,946	4,791,587	5,466,291	5,514,655	1.5倍
人口(人)	13,077	12,021	11,144	9,961	8,803	7,796	40%の減
一人あたりの借入額	281	336	437	481	621	707	2.52倍
経常収支比率(%)	80.4	88.5	93.0	92.7	89.1	95.1	過去最悪
財政調整基金 残高	506,557	405,985	563,097	486,694	1,232,528	1,152,432	2.27倍
群馬県退職金共済組合負担金不足額	非公開						
法人町民税	119,848	91,866	61,430	80,992	42,661	40,218	66.4%の減
個人町民税	419,744	302,833	246,013	338,454	295,606	272,906	35.0%の減
固定資産税	467,606	588,800	594,783	565,135	488,125	468,739	H10・H15比20%減
その他の税	153,992	107,421	72,431	74,065	79,042	75,562	50%の減
町税合計	1,170,190	1,090,920	974,657	1,058,646	905,434	857,425	26.7%の減

議員定数(人)	20	18	16	14	12	12	8名減員(4割減員)
議員報酬(月額)	185	210	210	199	199	199	

審議結果

6月定例会（6日～15日開催）

○は賛成、×は反対を表しています。

議案番号	議案名	議員名										審議結果	
		小須田肇	岡田邦敏	永井正之	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	佐藤勇二	千野榮治	島崎紘一	岡田武二		佐藤公夫
32	専決処分の承認を求めることについて(下仁田町固定資産評価員の選任について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
33	専決処分の承認を求めることについて(下仁田町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
34	専決処分の承認を求めることについて (下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
35	専決処分の承認を求めることについて (下仁田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
36	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度下仁田町一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
37	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
38	下仁田町教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
39	下仁田町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
40	下仁田町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	令和元年度下仁田町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
42	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国の負担割合を2分の1に還元することを求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	新たな過疎対策法の制定に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情	教職員定数改善の推進と義務教育費国庫負担制度の国の負担割合を2分の1に還元することを求める意見書採択に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

(堀口博志議長を除く11人で採決を行います。)

※専決処分とは、

議会が議決又は決定すべき事件について、法定事由に該当する場合等、長が議会に代わってこれを処分すること。専決処分後は、議会に報告し、承認を求めなければならない。

「春秋館」は、明治後期から昭和初期まで操業し、強力な冷風を出す荒船風穴を蚕種貯蔵所として活用し、新たなビジネスモデルを構築し、原料繭の増産に大きく貢献しました。下仁田町では「春秋館跡」として、平成30年3月に文化財に指定し、平成31年1月には「ぐんま絹遺産」にも登録になりました。



春秋館跡外観



荒船風穴

また、今年度予定されている番舎遺構ゾーン(平地)の整備工事内容について、歴史館の秋池館長より説明を受けました。その後、西野牧根小屋地内にある町指定史跡「春秋館」も現況についての見学を行いました。

■総務委員会
6月10日(月)
・荒船風穴及び春秋館
平成30年度荒船風穴見学者広場に冷風体験室等が整備されたことから、現地確認をしました。

今後、荒船風穴と共に、絹産業発展に重要な役割を果たした遺産として保全をし、後世に引き継いでいく必要があります。

(委員長・千野榮治)

委員会町内行政視察

■社会経済委員会

6月13日(木)

・町道4389号(妙義荒船2号線)山腹崩壊現場視察

崩壊箇所の復旧、交通止解除に関して、現地視察を実施しました。

和美峠から長野県へ入り、碓氷軽井沢ICからの県道を軽井沢町方面に約800m進み左折、軽井沢町管理道路を約2.4km進むと県境となりますが、ここが町道4389号線の起点で、平成21年の山腹崩壊以降、交通止となっています。そこから約1.3kmを徒歩にて、山腹崩壊状況を確認しました。

(左写真) 荒船風穴にて冷風体験室等を視察し、その後帰着しました。



6月20日(木)

・除染土壌仮置場視察



水質検査の様子

吉崎地内の大山国有林に設置、東日本大震災による原発事故に伴う放射線物質除去土壌を耐水性防水性に優れた袋に入れて、上部を遮水シートで覆い、汚染さされていない土壌で盛土し遮蔽、下部も遮水シートで、地下水への浸水を防止しています。鉄製防護柵及び有刺鉄線を設置、施錠により、適切管理されています。放射線監視業務は、施設内4か所の空間線量測定を毎週地下水浸透水2カ所と千沢川上流水質検査1カ所を毎月実施し、結果は、吉崎公会堂に掲示されています。

なお、除染に要した経費は全額国庫補助対象です。

(委員長・木暮弘元)

各種総会等報告

■甘楽多野地域町村議会議員有害鳥獣対策連絡協議会定期総会

5月15日(水) 神流町役場において開催、平成30年度事業報告及び決算、令和元年度事業計画及び予算案が審議承認、永井正之議員を会長とする役員案が承認されました。

■第39回富岡甘楽地方議会議員連絡協議会定期総会

5月17日(金) 下仁田町公民館において開催、平成30年度事業報告及び決算、令和元年度事業計画及び予算案が審議承認、富岡市議会相川求議長を会長とする役員案が承認されました。

総会終了後、上毛新聞社編集局長の高橋徹氏により、「どうなる令和」と題し、新時代の行方を展望する講演をいただきました。

■定住自立圏構想学習会

5月27日(月) 富岡市役所において、富岡市甘楽郡の全議員及び首長、関係職員等約120名参加の下開催、講師には、(株)日本総

合研究所主任研究員の藻谷浩介氏をお迎えし、「人口成熟時代の地域活性化と定住自立圏」と題して、富岡甘楽地域の生活圏や人口動向の共通性や、観光による地域経済活性化の鍵は「地消地産」であることなどの重要性を講演されました。



■群馬県町村議会議長会臨時総会

5月30日(木)・31日(金) みなかみ町において開催、正副会長、監事選任を審議、会長に上野村議会議長の仲澤太郎氏を選任することが承認されました。

総会終了後、長野県飯綱町前議会議長の寺島渉氏により「住民自治の根幹としての議会力・議員力の発揮へ」と題して講演をいただきました。

広域圏NEWS

▼富岡甘楽広域議会

富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合臨時議会が7月3日に開催された。

- 1 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 2 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 3 財産の取得について(災害対応特殊救急自動車)
- 4 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合教育委員会教育長の任命について
- 5 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合監査委員の選任について

全会一致で可決

シリーズ 地域おこし協力隊①

伊藤彩香

(福祉課包括支援係勤務)



「地域おこし協力隊」という制度をご存知でしょうか。地方自治体が都市住民を受け入れ、農林漁業の応援、住民の生活支援などの地域協力活動に従事してもらいながら、地域への定住・定着を図ろうという取り組みです。

下仁田町では現在3名の隊員が活動中です。またこの制度を活用し、任期後、町に定住した隊員もおられます。私は平成29年7月より、西牧地区で「高齢者の集いの場、生きがいの場づくり」に携わって参りました。西牧地区は、高齢化率が

50%を越えています。数字だけ見ると紛れもない限界集落ですが、畑仕事や趣味の活動に精を出す元気な方が多く、ご近所同士の助け合いも盛んな、素晴らしい地域です。

夕涼み会
(西牧活性化センター)



それでもやはり高齢化により、近所の人と顔を合わせる機会が減ったり、地域行事ができなくなったりして、寂しさを感じると住民の方に伺いました。私はこうした声を受け、いくつかの集会所に交流の場を設け、地域の方と協力

しつつ運営して参りました。また認知症を学ぶ講座を行ったり、ボランティアを募って夕涼み会を開催したりと、様々な「出掛ける場所」をつくっています。

日々驚かされるのは、ご高齢の方々の元気さと、その能力の高さです。「私たちはもう年だから何もできない」と言われてしまうことも多いですが、そんなことはないと思います。今後、皆様が住み慣れた地域で、自分らしい人生を送る糧となるようなきっかけづくりに「協力」していければと思います。

認知症を学ぶ講座
(ニツ瀬集会所)



編集室から

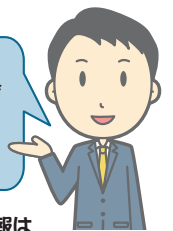
最近では、やたらと「AI」という言葉を耳にします。「人工知能」という意味だそうですが、すでに色々な分野で利用されていて、自動で部屋を掃除してくれるロボットは身近な物のひとつですね。(私の家はありませんが。) また、「AI」と人間が将棋やチェスで勝負したなど、例を挙げればきりがありません。さらに高度な開発が加速度的に進むでしょうが、怖い予想もあります。それは近い将来、色々な職業が「AI」に取って代わられるというものです。「人が作ったAIは、そもそも人を助けるための存在である。」という、昨年末に政府が示した基本的な観点にのっとりながら、開発もルール作りも進めていってほしいものです。

小須田肇

広報発行特別委員会

委員長 岡田邦敏
副委員長 小須田肇
委員 木暮弘元
永井正之
佐藤 博
千野榮治
島崎紘一

次の定例会は9月です。
議会及び予算決算特別委員会の傍聴ができます。
日程などのお問い合わせは
☎64-8810



議会だより・会議録の他、町の情報は下記ホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

■議会だより第85号(令和元年5月1日発行)12ページ「審議結果」の氏名表記に誤りがありました。正しくは左表のとおりです。訂正し、お詫び申し上げます。

人権擁護委員候補者の推薦について (諮問第1号)
岩井けさ江 氏 (再任)

人権擁護委員候補者の推薦について (諮問第2号)
神戸澄江 氏 (新任)

下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任について
酒井俊輔 氏 (再任)